

あなたのまちの

国有林

一ツ瀬川流域における国有林野事業の取組



林野庁 九州森林管理局

西都児湯森林管理署

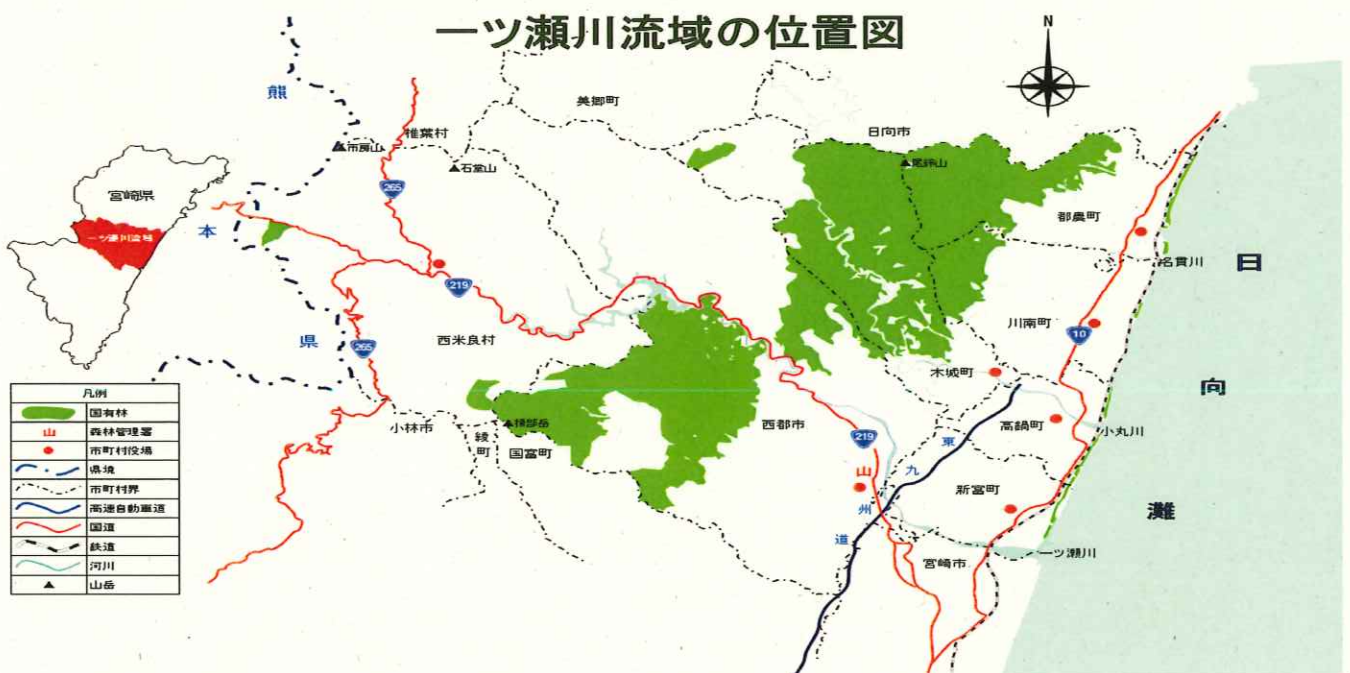
一ツ瀬川流域の概要

1 自然的背景

(1) 流域の位置図及び面積

本流域は、宮崎県のほぼ中央部に位置し、西都市、木城町、高鍋町、新富町、川南町、都農町、西米良村(1市5町1村)からなり、総面積は115,382haであり、宮崎県総面積773,531haの約15%を占めています。

本流域内の国有林は、主に北東部に位置する尾鈴山おすずから稗畑山ひえはた、国見山くにみ、掃部岳かもんを結ぶ山々から成りたっており、熊本県境に接する西米良村と日向灘に沿った海岸地帯にも山々が連なっており、この一ツ瀬川流域の占める面積は26,634haとなっています。



(2) 地勢

本流域は、西部に九州山系の主峰「市房山いちふさ」を中心とした急峻な山岳地帯を形成し、東方に向かって標高が低くなりながら広がり、台地状の小丘陵を作り、海岸沿いの平野部に続いています。

北東部には、尾鈴山山系の主峰「尾鈴山」があり、西部山岳部とは対照的に穏やかな山麓からなりたち、南東に延びています。

南東部は、海岸段丘が発達し唐瀬原、茶臼原等の広大な段丘面があり、高鍋付近より北では海岸まで段丘が迫り、一ツ瀬川、小丸川等の河川沿いに推積平野が広がっています。

河川は、椎葉村を源流とする一ツ瀬川、小丸川があり、それぞれ多くの支流が集まり、本流域の中央部を南東に流下しています。

また、尾鈴山系が源流となる名貫川、平田川は東へ流れ、日向灘に注いでいます。

(3) 気候

本流域の平均気温は、東部平野部が18℃前後、西部山間部が約16℃前後であり、年平均降水量は海岸部で2,700mmを越え、西部山間部では3,400mm前後と多く、比較的温暖な多雨地帯であり林木の生育に適した気象条件を有しています。

2 社会・経済的状況

(1) 森林面積及び人口

本流域のうち森林面積は83,190haあり、総面積115,382haの72%を占めます。
このうち国有林は26,586haであり総面積の32%を占め、民有林は56,604haであり68%となっています。
人口は、約96千人で宮崎県総人口1,104千人の9%にあたります。

(2) 交通

本流域の東部海岸部には、国道10号線とJR日豊本線が並行して、広域農道が内陸部のそれぞれ南北に縦走しています。さらに東九州自動車道が、国道10号線と農道の間を同様に縦走しています。
また、国道219号線が本流域のほぼ中央を東西に走っており、さらに、国道265号線が国道219号線と交差し、西部山岳地域を縦断しています。
これらの主要となる道路を中心に県道、市町村道が連絡し、農道、林道等が接続して道路網を形成しています。

(3) 産業の概要

本流域における平成30年度の産業別生産額割合は、第1次産業15%、第2次産業24%、第3次産業61%、宮崎県内の他の流域に比べて第1次産業の占める割合が高くなっています。
林業総生産額は18億円で、第1次産業総生産額の4%を占めています。
(※県統計調査課『平成30年度宮崎県の市町村民経済計算』による。)

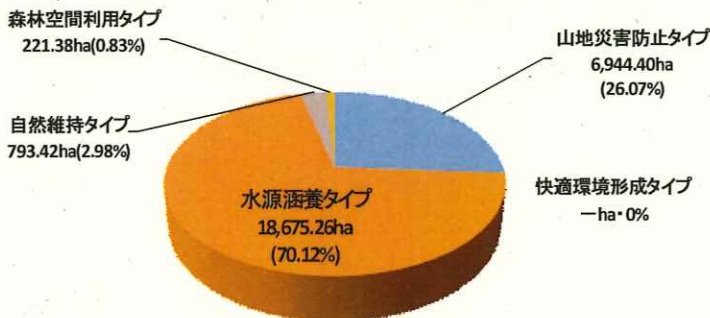
3 国有林の概況と経営方針

本流域の国有林は、西都児湯森林管理署で管理経営しています。

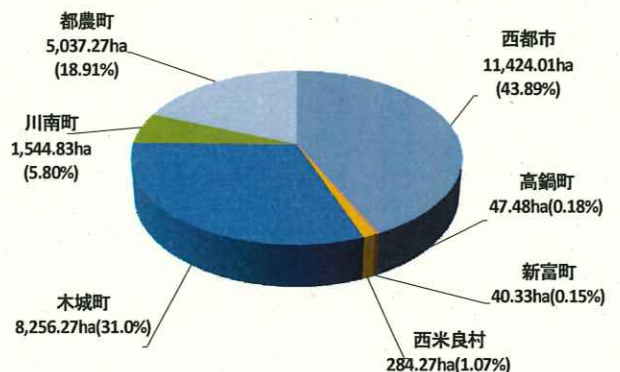
国有林面積は26,634haあり、九州森林管理局管理面積の約5%にあたり、人工林面積は14,650haで人工林率55%となっています。

管理経営にあたっては、林産物の供給に重点を置いたものから公益的機能の維持増進を旨とする5タイプの機能類型区分を行い、各機能の発揮を目的とした管理経営を行うこととしています。

森林の有する機能別の面積



市町村別面積



西都市の 国有林

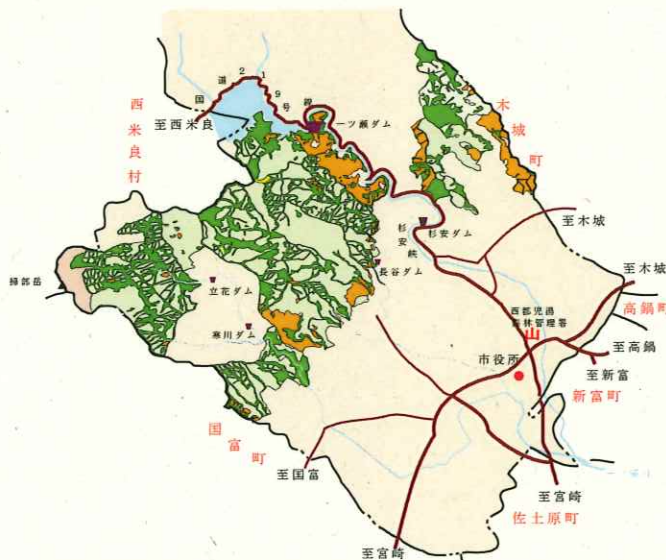


西都市国有林 山並みを下流域から望む

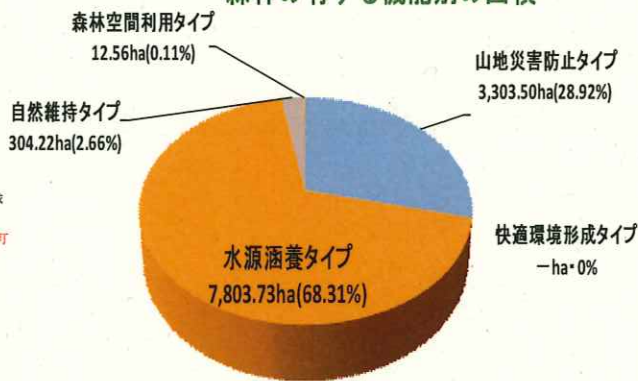
西都市の森林は、景勝を誇る米良溪谷や杉安峡を有する急峻な森林地帯あり、中部の北西から南東報告に一ツ瀬川が貫流しています。

中流部の「一ツ瀬ダム」は、西日本において威容を誇るアーチダムであり上流域の森林地帯から段丘状に畑・水田地帯と広がっています。

西都市総面積43,879haにおける森林面積は、77%を占めており、その内、国有林野管理面積は山稜部にある11,424haで、西都市総面積の26%になります。



森林の有する機能別の面積



〈西都古墳群：季節毎の移り変わり〉

市街地西方の台地には、日本最大の古墳群として有名な特別史跡の「西都原古墳群」があり、神話のゆかりの地としても知られ、毎年多くの観光客が訪れています。



◀ 森の巨人「コウヤマキ」

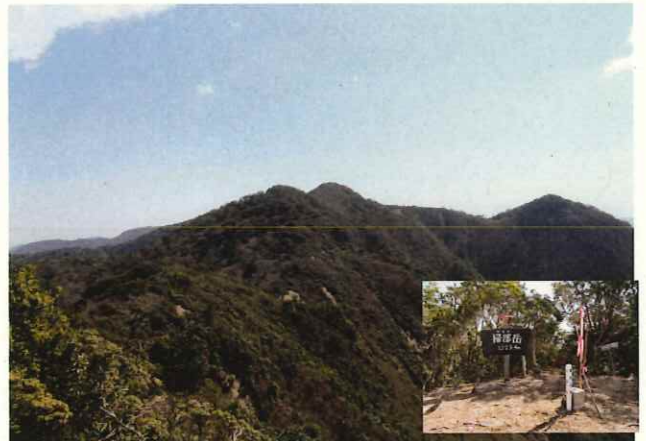
厳しい環境の中で、数百年の長い年月を生き抜いてきた「森の巨人」であり、宮崎県の巨樹・巨木百選の指定を受けています。コウヤマキは悠仁親王殿下の「お印」で脚光を浴びましたが、自生する南限でもあり学術的にも貴重な存在です。

このコウヤマキについては、西都市議会等の有志から構成される、保護協議会を設置して、保護対策や周辺及び歩道等の環境整備に取り組んでいます。

樹種：コウヤマキ

幹周り：396cm

樹高：19m



▲ 掃部岳 植物群落保護林 (444 ha)

掃部岳周辺には、森林の学術的価値の高い多様な植物があり、この自然生態系を一体的に維持するため、森林施業計画を策定しています。また、森林管理技術の発展、学術研究等に資することとしています。



◀ 一ツ瀬ダム

昭和38年8月竣工し、工事中には、秘境にとどろいた轟音はいまや鎮まり満々と水を湛えた一ツ瀬ダムは、湖底に沈んだふるりの思いでを静かに偲んでいます。



西都市街地▶

国有林から西都市街地を遠望することができます。



◀ 建設中の広域幹線林道 長谷児原線

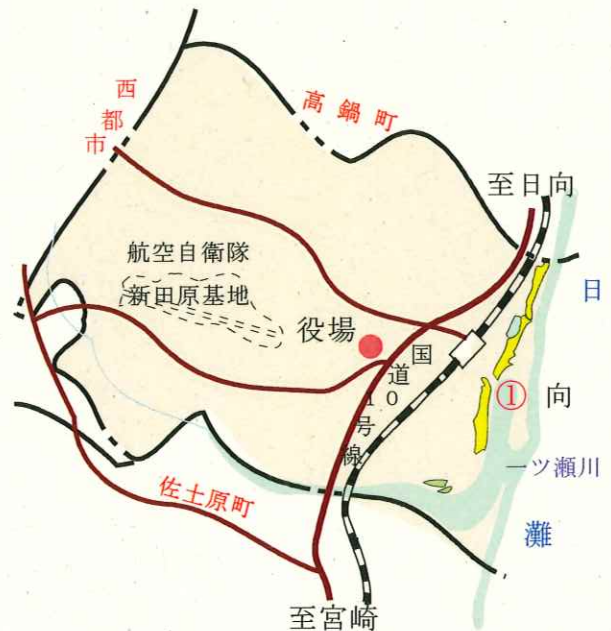
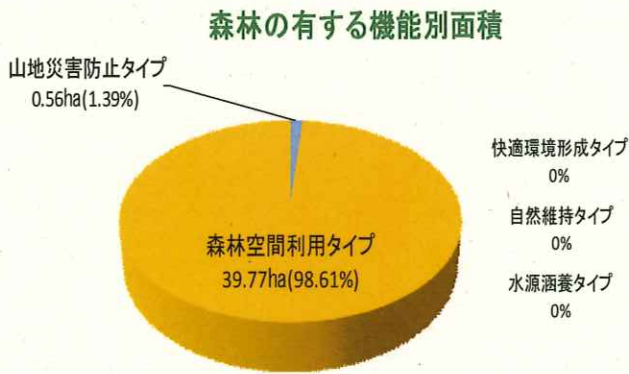
西都市と西米良村を結ぶ森林幹線道を開設中であり、完成すると蓄積された森林の搬出と適正な森林整備の促進や総合的利用等にも大きく寄与するとともに、西米良村の生命線である国道219号線の非常時の迂回路としての役割も期待されています。

新富町の 国有林



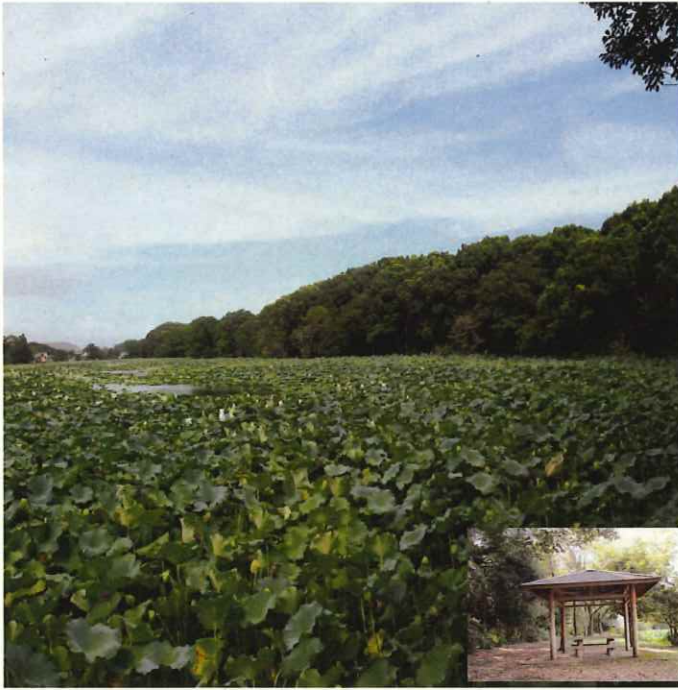
新富町の森林は、そのほとんどが高台丘陵地にあるの畑地帯と水田地帯を挟む傾斜地に在り、一部が海岸地帯の海岸線に国有林を含むマツ林と広葉樹からなる保安林となっています。

新富町総面積6,153haにおける森林面積は、20%を占めており、その内、国有林野管理面積は、日向灘海岸沿いにある40haで新富町総面積の1%にあたります。また、防衛省所管面積26haがあります。



◀ 潮害防備・保健保安林

一ツ瀬川河口一帯は、国有林・県有林及び町有林のマツ林に囲まれており、このマツ林内には、県下唯一の漕艇競技場があります。また、キャンプ場など富田浜運動公園として地域内外の人々に親しまれています。



▲ 新富町の海岸保安林

国有林と民有林が相互に連携・協力・協働して、海岸林のもつ機能が効果的に発揮されるよう森林病虫害蔓延防除、林地散策道の整備等森林施業を展開し、地域住民等の協力のもと、海岸林の整備を行っています。



(平成29年度植栽)



(令和4年9月現在)

▲ マツ成長量促進試験地

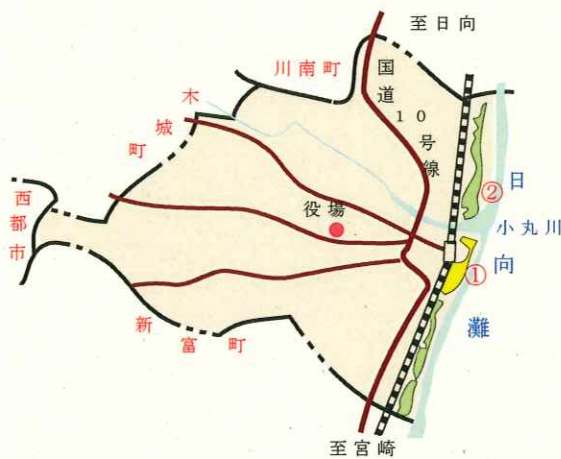
海岸林のマツ林造成に向けて、「無配合」と「木酢液と樹皮炭」を混和した比率割合の異なる施肥2タイプを根底部土壤へ入れ、成長量の違いについての比較検証試験を実施しています。

高鍋町の 国有林



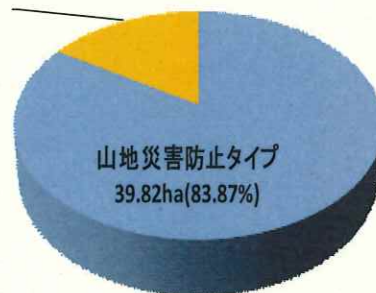
高鍋町の森林は、ほとんどが海岸段丘状のほぼ平坦な高台の畑地帯と、平地の水田地帯を挟む傾斜に位置し、海岸地帯に国有林を含むマツ林と広葉樹が広がり、その大部分が保安林となっています。

高鍋町総面積4,380haにおける森林面積は、17%を占めており、その内、国有林野管理面積は、日向灘海岸線沿いの47haで、高鍋町総面積の1%にあたります。



森林の有する機能別の面積

森林空間利用タイプ
7.66ha(16.13%)



快適環境形成タイプ
-ha・0%

自然維持タイプ
-ha・0%

水源涵養タイプ
-ha・0%



◀高鍋天然カキ

上流部国有林で生まれた豊かな水は、小丸川を流れ、高鍋海岸にそそがれ、良好な天然カキが育っています。

◀潮害防備保安林

白砂青松として、高鍋海水浴場やキャンプ場として町内住民のいこいの場として、利用されていることや、町外からのマリンスポットとして、栄えている海岸となっています。

潮害防備保安林

保安林の機能を保つため、関係機関と連携したマツの植栽等を実施し、白砂青松を目指す取組を行っています。

また、森林病虫害蔓延防除の実施、林内散策道の整備等や森林整備を行い、地域住民やボランティア等の協力を得て、「憩いの場、レクリエーションの場」となるよう海岸林整備を行っています。



(潮害防備保安林の遠望)



(高鍋大師より遠望)



(関係機関による抵抗性クロマツの植栽の様子)



(森林病虫害防除の様子)



(危険木等森林整備の様子)



(危険木等森林整備後の様子)

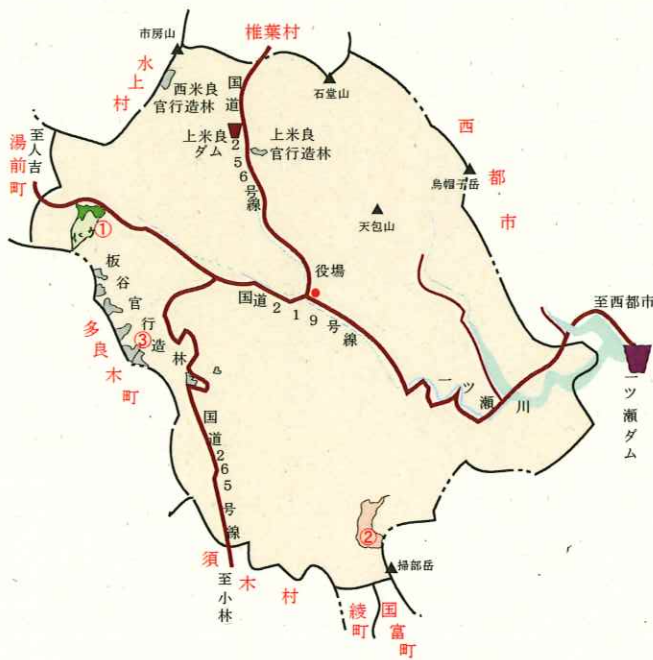
西米良村の 国有林



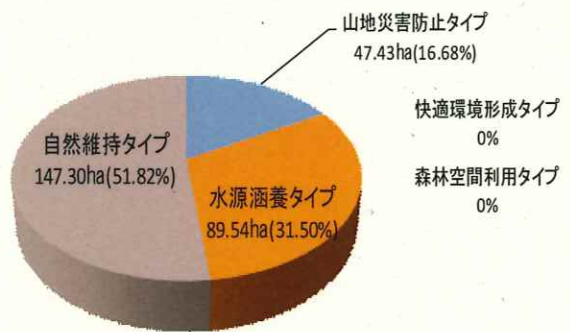
西米良村の森林は、九州山脈の山々を代表する「九州中央山地国定公園」の指定を受けている「市房山」・「石堂山」があり、一ツ瀬川最上流部を占めており地形は急峻です。

西米良村総面積27,151haにおける森林面積は、96%を占めており、その内、国有林野管理面積は284haで、西米良村総面積の1%にあたります。

また、西米良村には管内唯一の官行造林が存しています。



森林の有する機能別の面積



横谷地域の国有林

横谷地域は、一ツ瀬川の上流部に位置し、山地災害防止機能や水源かん養機能の発揮が期待されている森林となっています。





▲ 自然環境保全地域特別地区(64ha)

横野地区は、宮崎県自然環境保全地域特別地区に指定されており、優れた自然景観及びこの自然豊かな林相の保護と自然環境の保全・形成等の保健文化機能の発揮が期待されています。



▲ 官行造林：遠望と近景



▲ 小川城址公園



▲ かりこぼうず大橋 ▲

山の稜線に見立てた3連のトラスと桁をあわせた橋で、木橋での支間長の長さでは日本一です。

ふるさと林道による一ツ瀬川にかかる全長140m、2車線の木造車道橋(県産のスギ構造用集成材1,300㎡使用)です。



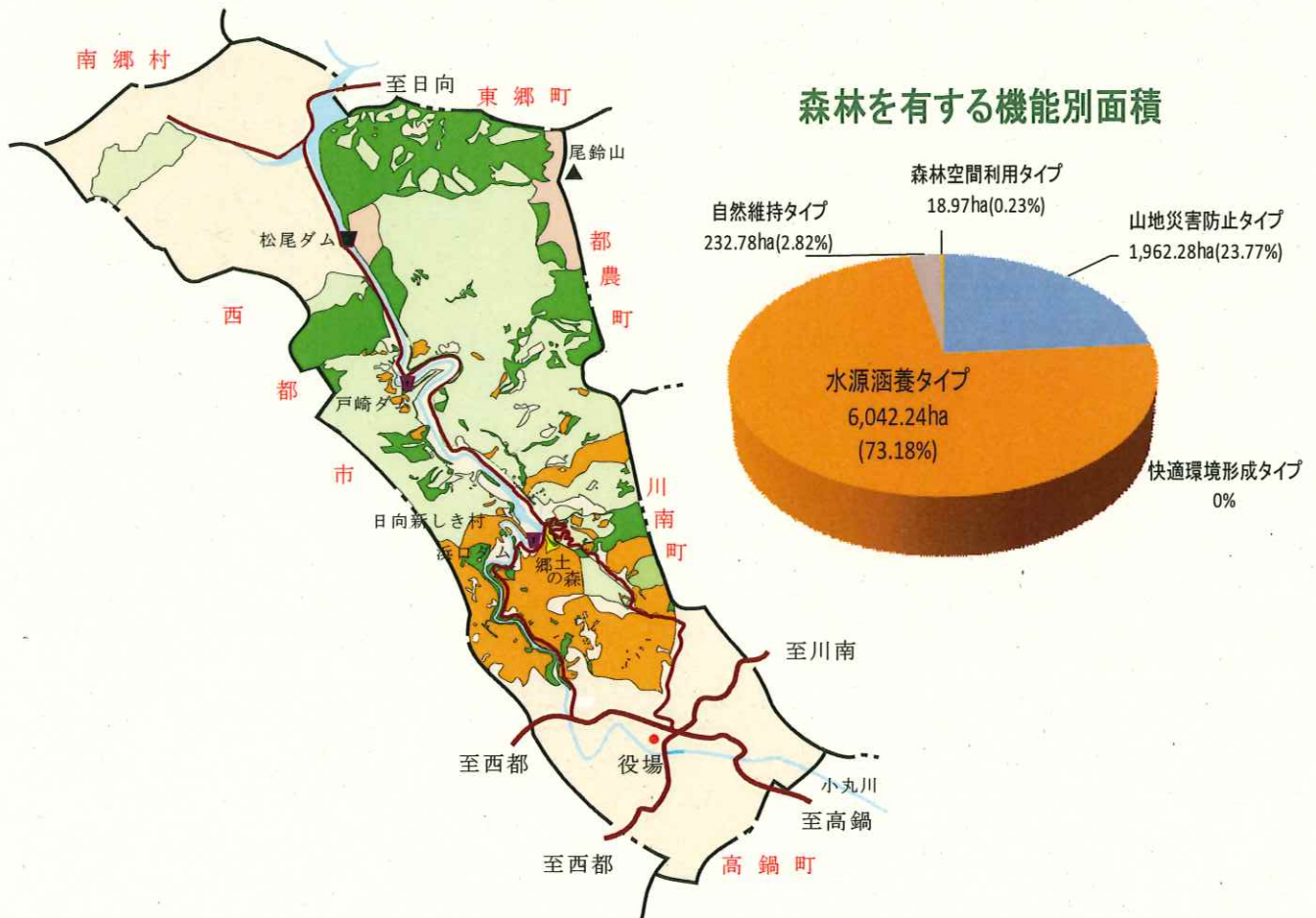
木城町の 国有林



木城町の森林は、町の中央を小丸川が北西から東南方向に貫流し、下流域では扇状地になっており、耕地等地域を除き、そのほとんどは急峻な森林地帯です。

木城町総面積14,596haにおける森林面積は、83%を占めており、その内、国有林野管理面積は、小丸川の上流域を占める8,256haで、木城町総面積の57%にあたります。

小丸川(木城町)は、水量豊富で、現在4つのダムがあり、下流では田畑の干害用水の水源として利用され、さらに、高鍋町・川南町の上水道としての役割を担っています。



国有林と日向新しき村・小丸川・石河内集落を望む。



石河内集落

石河内展望所



豊富な水を与える国有林と小丸川

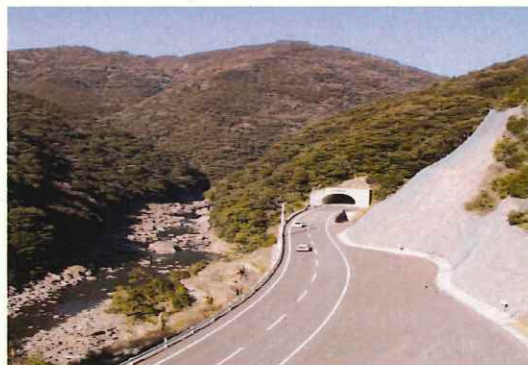
郷土の森「フォレストピア石河内」

春はサクラやツツジが咲きます。

森林環境学習の森として活用され、地元自治公民館や木城町役場など4者で、保全協議会を設置し、森林整備等に取り組んでいます。



◀尾鈴林木遺伝資源保存林（110ha）と松尾ダム
アカマツ・コウヤマキ・イチイガシ・タブノキ等の
遺伝資源保存のための保護林です。



▲文学ロード

国有林内を通過する「武者小路実篤文学ロード」と小丸川の渓谷美が見られます。

川南町の 国有林



川南町国有林 山並みを下流域の農地から望む

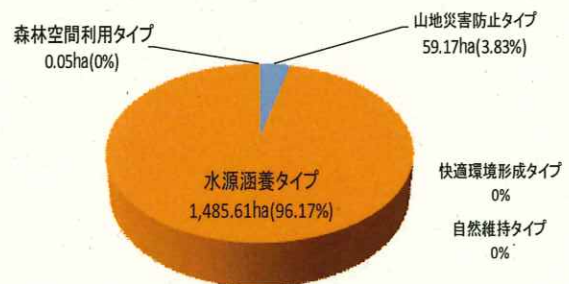
川南町の森林は、東側の日向灘沿いには海岸林を有し、これらの海岸林は、保安林となっています。

海岸段丘の上にある標高50m前後の台地には町道・農道があり、穏やかに広がる地形は畑を中心に農耕地となっています。西の尾鈴山には、国有林があり、尾鈴山系から流れる水により、下流部の農地が潤っています。

川南町総面積9,012haにおける森林面積は、37%を占めており、その内、国有林野管理面積は、尾鈴山系及び海岸部の2箇所にある1,545haで、川南町総面積の17%にあたります。



森林の有する機能別の面積



▲ 潮害防備保安林

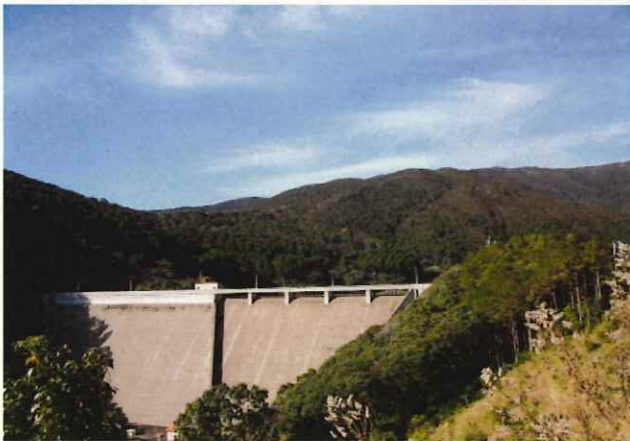
マツ林や広葉樹によって、潮害から人家や田畑などを守る役割を果たしています。

● 国有林から眺望

尾鈴山系国有林からは、日向灘に向かって、穏やかな傾斜の山麓であり、中域には畑地帯を経て、川南町の町並みや日向灘を見ることができます。



尾鈴国有林からの眺望



▲ 切原ダム



▲ 切原ダムから国有林を望む

平成5年に、地域振興の畑作等の農業用水を貯水することを目的とし、下流域の畑作への水確保及び計画的な水利用を図るため、建設されました。

● 川南町の海岸保安林

海岸沿いの田畑等を潮害から守る森林として保安林に指定しており、この森林を守るため、波を減勢し海岸林の浸食等防ぐ消波ブロックを設置しています。



▲ 海岸林の遠望



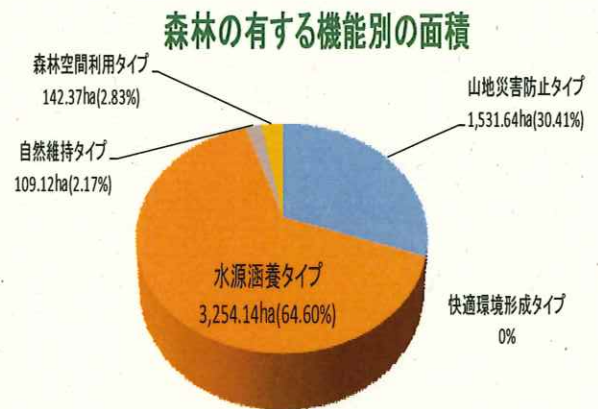
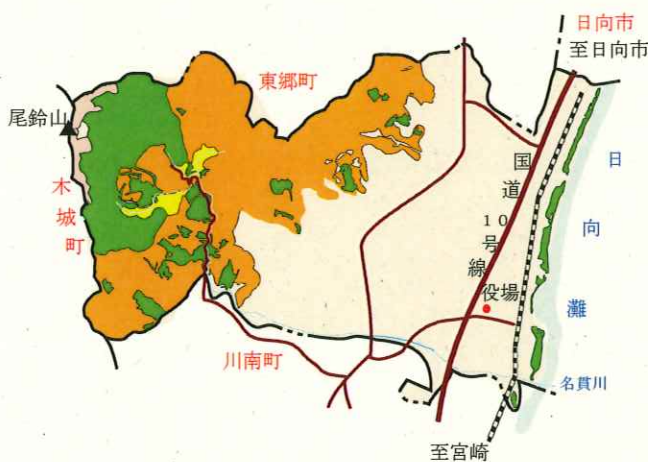
▲ 消波ブロックの設置状況

都農町の 国有林



都農町の森林は、東側に日向灘に接する海岸部と、西は尾鈴山系の一帯からなっており、地形は比較的丘陵的な地形が大半を占めていますが、尾鈴山の麓周辺は「矢研の滝」をはじめとし、大小30余りの「尾鈴山瀑」が分布する急峻な地形もあります。

都農町総面積10,211haにおける森林面積は、63%を占めており、その内、国有林野管理面積は、尾鈴山系及び海岸部の2箇所にある5,037haで、都農町総面積の49%にあたります。



▼ 潮害防備保安林

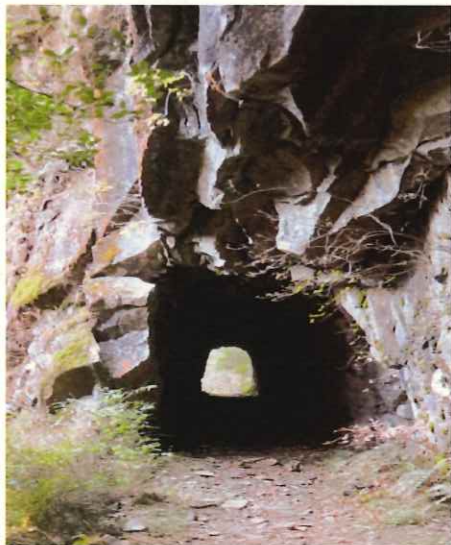


▼ 防潮護岸の設置状況



マツ林や広葉樹によって、潮害から人家や田畑などを守る役割を果たしています。

尾鈴風致探勝林(122ha)



◀ 九州自然遊歩道 ▶

白滝への九州自然遊歩道隊道跡(左側)、軌道跡(右側)、尾鈴トロッコ道は、明治42年木軌道として、開通されました。その後各作業場へも敷道され、昭和33年撤去され、軌道敷跡の名残りは山中の至る所で見られます。

また、尾鈴県立自然公園内にある「都農町営尾鈴キャンプ場」のモミや、瀑布群の中でも最も落差のある代表的な「白滝」、神武天皇東征の祈り、この滝川で矢や鉾を研いたことが名の由来の「矢研の滝」などがあります。



▼ 尾鈴県立自然公園内に、尾鈴渓谷瀑布群がにあり、滝と渓谷美の探索には好適地です。



白滝



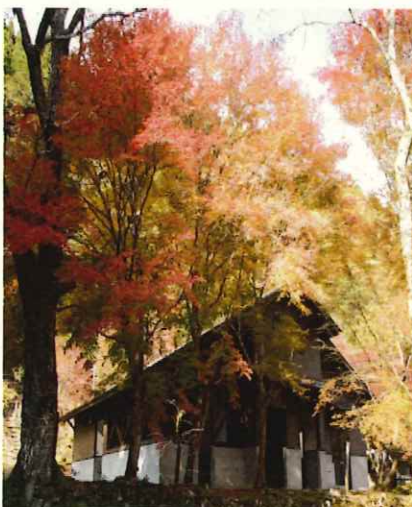
矢研の滝



紅葉の滝



▲ 森の巨人「モミ(尾鈴大山の神)」



▲ 都農町営キャンプ場



宮崎県の巨樹・巨木百選の指定を受けています。

一ッ瀬川流域の国有林流域のデータ

1 市町村別機能類型別国有林面積

(単位:ha)

機能類型別 市町村別	山地災害タイプ				水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		計	官行造林
	土流出崩壊防備		気象害防備		林地	林地以外	林地	林地以外	林地	林地以外		
	林地	林地以外	林地	林地以外								
西都市	3,194	109			7,671	134	302	2	13	0	11,424	
高鍋町			39	1					7	1	47	
新富町				1					33	7	40	
西米良村	44	4			89	0	147	1			284	96
木城町	1,891	71			5,903	139	230	3	19	0	8,256	
川南町	42	2	15	0	1,446	39				0	1,545	
都農町	1,417	26	89	2	3,173	80	107	2	134	8	5,038	
計	6,586	212	142	4	18,284	392	786	8	205	16	26,635	96

* 山地災害タイプ・水源かん養タイプ・自然維持タイプ・森林空間利用タイプ・快適環境形成タイプ(西都児湯森林管理署該当なし)の機能類型区分別されています。

* 四捨五入の関係で計と内訳の合計が一致しないことがある。

2 平均計画事業

収穫量(m ³)			保育(ha)				更新(ha)
主伐	間伐	合計	下刈	除伐	つる切	ぼう芽整理	
62,552	74,448	137,000	447	85	135	1	110

* 令和4年4月1日から令和9年年3月31日までの5ヶ年の年平均計画事業量です。

3 保護林名称及び区域

種類	名称	面積(ha)	位置	特徴等
生物群集保護林	掃部岳	443.91ha	西米良村 西都市	掃部岳周辺森林の学術的価値の高い多様な自然生態系を一体的に維持を図り併せて森林施業、森林管理技術の発展学術研究等に資する。
遺伝資源希少個体群保護林	尾鈴 アカマツ 等	109.91ha	木城町	アカマツ、コウヤマキ、イチイガシ、タブノキ等の遺伝資源の保存のため。
希少個体群保護林	尾鈴 コウヤマキ	14.67ha	木城町 都農町	コウヤマキ群生地の分布南限で希少化しておりその特異性と規模から保護する必要があるため。
希少個体群保護林	国見山 コウヤマキ 等	7.61ha	西都市	コウヤマキは分布南限で希少化しており、そのほか、ツガ・アカガシ等が生育する林分を保護するとともに、学術研究等に資する。

4 レクリエーションの森

種類	名称	面積(ha)	位置	特徴等
風致探勝林	尾鈴レクリエーションの森	121.64ha	都農町	日向市に近く交通の便もよい、国の名勝尾鈴渓谷瀑布群の一角であり、瀑布群と渓谷美の探勝キャンプ場として好適地のため。

九州森林管理局管内図



連絡先

名称	〒	所在地	電話番号
九州森林管理局	860-0081	熊本市西区京町本丁2番7号	096-326-3500
西都児湯森林管理署	881-0033	西都市大字妻909-5	0983-43-1377
九流水森林事務所	881-0101	西都市大字三納10576	0983-45-1191
札之元森林事務所			0983-45-1011
木城森林事務所	884-0103	児湯郡木城町大字川原823-4	0983-32-2205
鶴懐森林事務所	884-0104	児湯郡木城町大字石河内431	0983-39-1174
都農森林事務所	889-1201	児湯郡都農町大字川北3602-6	0983-25-3314
川南森林事務所	889-1301	児湯郡川南町大字川南13679-32	0983-27-0049